

令和3年度第2回大府市交通安全対策会議 議事録

日 時：令和3年8月19日（木）
午後1時30分～2時10分
場 所：大府市役所 全員協議会室

【 出席者 】（ ）内は代理者

会 長：岡村秀人：大府市長

委 員：真弓英大：国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所名古屋国道維持第三出張所長、片山貴視（岡田）：愛知県知多建設事務所長、磯山互：愛知県道路コンセッション株式会社、久保田英男：東海警察署交通課長、竹内勝哉：東海大府交通安全協会大府分会長、深谷さと子：大府市身体障がい者福祉協会代表、門野京子：大府市小中学校PTA連絡協議会代表、望月みね子：大府市地域婦人団体連絡協議会代表

事務局：信田光隆：市民協働部長、近藤真一：危機管理課長、近藤宏幸：危機管理課生活安全係長、吉村隆汰：危機管理課生活安全係主事、岡田秀之：危機管理課生活安全係地域安全専門員

欠席者：久野晃：大府市老人クラブ連合会長、山内裕美：大府市審議会等公募委員

議事

- 司会 近藤危機管理課長
- 議長 岡村大府市長（会長）

1 会長あいさつ

【 会長 】

本日は、本市の第11次交通安全計画の策定にあたり、素案を作成したため、委員の皆さまから御意見をいただきたいと思っている。

6月末に千葉県の八街市において発生した交通事故の状況について、皆さんも御存知だと思うが、小学生5人がトラックに轢かれ、2人が死亡するという悲惨な事故が発生した。この事故の発生を受けて、本市は市内小中学校の通学路の総点検を実施しており、9月議会に補正予算を提示し、速やかに交通安全対策を進めていく予定をしている。

また、本年10月から愛知県の条例の施行に併せて本市においても、自転車に乗る人の自転車損害賠償責任保険等への加入が義務化となるため、市として

も広報に努めるとともに、頭部を守るため、児童・生徒及び高齢者を対象とした自転車乗車用ヘルメットの購入費補助制度も周知していきたいと思っている。

本日の対策会議では、第11次大府市交通安全計画について、忌憚のないご意見をいただくよう、よろしく願います。

2 協議事項

第11次大府市交通安全計画（案）について
事務局から計画の概要について説明

【 委員 】

通学路交通安全プログラムについて計画に記載されていたが、愛知県としても大府市と協力して、通学路の交通安全対策を進めていきたい。

また、歩道整備等のハード面においては、市民の皆さまから土地を譲っていただきながら進めていくこととなるため、併せて御協力をお願いします。

【 会長 】

市内には、県道や県管理の国道もたくさんあるため、協調して進めていきたい。

【 委員 】

2年以上も連続して交通事故死ゼロとなっており、非常に素晴らしいと感じた。ビッグデータを活用して危険箇所を抽出することや、ICT等の調査・研究を実施していくと記載されていたが、具体的な施策はあるか。

【 事務局 】

具体的な施策については、従来から国や県からのデータ基に、安全で円滑な道路環境を整備してきているため、引き続き国や県と協力し、安全で円滑な道路環境を整備できるよう調査・研究していきたいと考えている。

【 委員 】

私の会社では日頃、高速道路の維持管理を行い、安全で安心して通行していただけるように努めている。

また、愛知県が行うスーパーシティ構想に参画しており、自動運転技術の支援実現に向けて協力させていただいている。当分先のことになると思うが、自動運転が普及すれば交通事故の減少につながると思うため、引き続き力を注いでいきたいと思っている。

【 委員 】

後ほど、交通事故状況の中でも話す予定をしているが、交通事故に高齢者が関わる事故の割合について計画に記載されているため、非常に良いと思う。

【 委員 】

先ほど、通学路対策等のハード面での話があったが、交通安全協会大府分会

としてはソフト面での対応について、積極的に取り組んでいきたいと思っている。交通安全啓発活動等では、市と警察と連携していきたいと思っているので、御協力をお願いします。

【 委員 】

高齢者や障がい者にとって、自転車に乗る際には、ヘルメットの着用が非常に大切だと思っている。先ほど会長から話があった、自転車乗車用ヘルメットの補助制度について、概要を伺いたい。

【 事務局 】

補助対象となる人等の補助対象要件や補助上限金額等、補助制度の概要について、説明。

【 委員 】

P T A母親代表として、小中学生の保護者の皆さんから情報を提供いただき、通学路の危険箇所について、意見を取りまとめて市に提出し、改善していただいているため、非常に感謝している。

日頃、通勤する際に、歩道を通行する自転車が、突然車道に飛び出してくることがあり、非常に危険に感じている。恐らく、歩道の段差を避けるために、車道に飛び出していると思うが、段差の無い歩道整備を進めていくと、より安全に快適に自動車も自転車も通行できると思う。

また、国民生活基礎調査の業務に従事した際に、一人住まいの御高齢の方の家を訪問する機会があった。高齢になって運転ができなくなり、日頃は歩いて買い物に行っていると伺い、そこは循環バスが近くを通らない地域であった。タクシー利用等も勧めてみたが、毎回タクシーとなると費用も嵩むため、循環バスの通行ルートが増えると良いと思う。

【 事務局 】

歩道の段差については、バリアフリー化の観点からできる限りフラットな道路整備を進めているが、特に危険と思われる大きな段差については、個別で御要望をいただき、改善できるところは対応を進めている。

循環バスについては、先ほど計画の中でも話させていただいたが、現在もサービスが向上するよう、御要望等をいただきながら改善を進めている。

【 委員 】

私は利用したことはないが、ふれあいバスは、すごく時間がかかり、出かける際に1日がかかりになるという話を聞いた。少しでも利用しやすいようになれば、良いと思う。

【 会長 】

ふれあいバスの利用者も徐々に増えてきている。ふれあいバスだけを移動手段として1日行動しようと思うと、不便さを感じるころはあると思う。これ

から、ますます高齢化は進展していくため、ふれあいバスの充実化に努めていきたい。

3 報告事項

大府市の交通事故状況について

【 委員 】

愛知県内では、8月18日現在、67名の方が交通事故によって亡くなっており、今月は既に3名の方が亡くなっている。前年比-23名となっており、全国ワースト1位の大阪府とは、25名差で全国ワースト7位となっている。亡くなられた67名の内訳は、65歳以上の高齢者が44名で全体の約65.7%を占めており、昨年以上に高くなっている。また、高齢者の44名の内訳は、歩行中20名、四輪車を運転又は同乗されていた方が14名となっている。先ほど、計画の中でも説明があったが、横断歩道を渡っている最中ではなく、その他横断という、横断歩道の無い所での道路横断による事故も確認されている。

大府市における情勢は、交通死亡事故は2年以上発生しておらず、負傷者も減少しており、交通事故そのものが減少している状況の中で、交通事故全体に対する高齢者の事故を占める割合は年々増加している。このことは、愛知県内においても、同じ傾向にある。

9月以降は、日が沈む時間が早くなる季節である。過去5年間の事故分析では、高齢者が関わる交通事故の8割、歩行者及び自転車が関わる事故の7割が日没の前後1時間に発生している。視覚機能の低下が著しい年齢となる高齢者にとっては、人や車が見づらくなる時間が長くなる時季となるため、ドライバーには、夕暮れ時の早めの前照灯点灯をしていただき、歩行者及び自転車の方には、明るい服装や反射材を着用していただきたい。

【 事務局 】

交通課長からの発言にあった、高齢者が他の年代と比較して横断違反の割合が大きいという特徴を踏まえ、高齢者に対する交通安全教育として資料15ページに計画を記載しているため、御承知いただきたい。

【 委員 】

既に免許を返納した高齢者世代は、免許更新時等の交通安全講習を受ける機会が無いと思うが、そのような方への交通安全教育は、どのように実施しているか。

【 事務局 】

公民館で実施している寿大学における交通安全講座や老人クラブへの交通安全教室等で行っている。

また、市では出前講座を実施しており、市民団体からの申し込みを受けて市職員や東海警察署の交通課或いは県警本部等から講師を派遣して交通安全教室を行う等、様々な形で啓発、教育を行っている。

【 委員 】

そのような講座に参加される方は意識が高く、交通ルールを順守して、交通事故を起こすこともないと思うが、講座に来られない方への教育の方法も検討していただきたい。

【 事務局 】

交通安全教室等では、受講された方へ、今日学んだことを近所に住む方、御家族や御友人に伝えていただくようお願いして終了するようにしており、口コミによる啓発も推進している。

【 事務局 】

これにて閉会とさせていただきます、お帰りの際は交通事故に気を付けていただきたい。

(閉会)